



遺伝子分析科学

編集：一般社団法人 日本臨床検査同学院
遺伝子分析科学認定士制度委員会

B5判，本文 257 頁，定価¥4,536（本体¥4,200+税）

「遺伝子分析科学認定士」の初級更新試験，一級の受験と学習支援に
医療機関，企業関係者，学生・教育機関などでも遺伝子検査に関わる日頃の業務の参考として，専門的知識を整理するための一般科学書として

遺伝検査技術の進歩は日進月歩であるため，それに対応できる認定資格取得者の知識・技術レベルを確保するため，認定資格は5年ごとの試験を中心とした更新制を採用している。2012年は第1回合格者（初級）の登録更新の有効期間の最終年となっている。また，同じ年に，制度発足の当初から計画されていた上級の資格試験として，「一級遺伝子分析科学認定士」試験を開始することとなった。「一級遺伝子分析科学認定士」は，初級認定士を既に取得した上で，高度な知識と十分な経験をもって後輩の指導を行いうる者をいう。そこで，更新試験や一級認定士試験の受験の参考書となるよう，テキスト「遺伝子分析科学」を出版することとなった。内容は，指導者に相応しい高度な知識および最近の進歩に関して学べるよう章立てを組んである。（序文より抜粋）

【内容】

1. 遺伝子検査の基礎知識：遺伝子分析科学認定士制度，遺伝子検査総論，遺伝子の基礎，染色体の基礎
 2. 遺伝子検査前の基礎技術：検体の取扱い，検査試薬・機器の取扱い，品質保証
 3. 核酸抽出：検体の前処理，DNA・RNA抽出（動物・植物・ヒト）
 4. 核酸増幅法：PCR法，その他の核酸増幅技術
 5. 検出技術：DNA・RNA解析，その他の検出技術
 6. 先端技術：ゲノミクス，疾患プロテオミクス，再生医療，バイオインフォマティクス
 7. その他の遺伝子検査の技術：動物の遺伝子解析，植物の遺伝子解析
 8. 遺伝子検査に基づく診療の実践：遺伝子異常と疾患，遺伝子診断，遺伝子治療，遺伝カウンセリング，遺伝情報，論理
 9. 遺伝子検査結果の評価：感染症，血液疾患，固形腫瘍，遺伝性疾患，生活習慣病，個人識別，ファーマコゲノミクス
 10. 染色体検査の実践：細胞培養法，標本作製，分染法，核型分析，蛍光 *in situ* ハイブリダイゼーション (FISH) 法
 11. 染色体検査結果の評価：染色体異常の種類，がんの分子・細胞遺伝学，環境変異原と染色体異常，論理
 12. 遺伝子・染色体検査業務：業務管理，コンサルテーション，教育とトレーニング，マネジメント，安全管理，精度管理，遺伝子検査ビジネス，臨床試験，遺伝子検査診断薬の開発，ガイドライン
- 用語解説，主要略語一覧，索引

発売：克誠堂出版株式会社
〒113-0033 東京都文京区本郷 3-23-5
Tel. 03-3811-0995 FAX 03-3813-1866

発行：株式会社宇宙堂八木書店
〒104-0042 東京都中央区入船 3-3-3
Tel. 03-3552-0931 FAX 03-3552-0770

【日本臨床検査同学院でも通信と同様に購入できます】

刊行物 <http://clmj.umin.jp/book/index3.html> をご覧下さい。

申込み名は「遺伝子分析科学」と記入してください。